

査読前の preprint 段階の研究成果の 大学等によるプレスリリースと報道のあり方について

2020 年 6 月 15 日（月） 15:00～17:00

ゲスト 小泉 周（自然科学研究機構・特任教授）

コロナ禍において、最新の研究成果をいち早く公開し、共有していくことが、人類とコロナとの戦いや共存にむけた取り組みに、有益であることは間違いありません。しかし、その一方で、科学的な査読を経ない研究成果が、大学組織によってオーソライズされた情報であるかのごとくプレスリリースあるいは報道として社会に出回っています。このことは、むしろ、大学組織や科学者への信頼を失墜させ、結果として、科学と社会の在り方を悪循環させることになりかねません。今回の勉強会では、この問題について皆さんと議論したいと思います。

会場 今回はオンライン会議システム「Zoom」を使って行います。

*Zoom は PC やタブレットなどあらゆるデバイスに対応していますので、ネット環境のある所ならどこからでもご参加いただけます。

*下記の申し込みフォームに記入・送信していただくと、Zoom のミーティング情報（URL やパスワード）が表示されますのでお控えください。開催前日にもリマインダーでお知らせいたします。

定員 とくになし

*当日参加も可能です！

*お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送りします。

持ち物 とくになし

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志（今回の担当：清水智樹）

*この研究会は、京都大学「学問と社会をつなぐコミュニケーション探究ライトユニット」の第 10 回研究会と共同開催いたします。

お申し込みはコチラから → <https://forms.gle/MbEPKmHTPyFWJiJQ6>